

○ 3領域の指導事項はどのように整理されたか。

1 指導事項の項目について、次のように改訂された。

(1) 「話すこと・聞くこと」

現行学習指導要領	→	新学習指導要領
発想や認識についての指導事項		話題設定や取材に関する指導事項
考えや意図についての指導事項		話すことに関する指導事項
話題についての指導事項		聞くことに関する指導事項
構成や論理についての指導事項		話し合うことに関する指導事項
語句や文についての指導事項		
話し合いについての指導事項		

(2) 「書くこと」

現行学習指導要領	→	新学習指導要領
発想や認識についての指導事項		課題設定や取材に関する指導事項
事柄や意見についての指導事項		構成に関する指導事項
選材についての指導事項		記述に関する指導事項
構成についての指導事項		推敲に関する指導事項
記述についての指導事項		交流に関する指導事項
推敲についての指導事項		
評価・批評についての指導事項		

(3) 「読むこと」

現行学習指導要領	→	新学習指導要領
語句の意味や用法についての指導事項		語句の意味の理解に関する指導事項
内容把握や要約についての指導事項		文章の解釈に関する指導事項
構成や展開についての指導事項		自分の考えの形成に関する指導事項
表現の仕方についての指導事項		読書と情報活用に関する指導事項
主題や要旨と意見についての指導事項		
ものの見方や考え方についての指導事項		
情報の活用についての指導事項		

## 2 「A話すこと・聞くこと」の指導事項

	第1学年	第2学年	第3学年
話題設定や取材に関する指導事項	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。	ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。
話すことに関する指導事項	イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。
聞くことに関する指導事項	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。
話し合うことに関する指導事項	オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	エ 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。

### 【ポイント】

学年ごとに指導内容が段階化・重点化されている。

- 話題設定や取材に関する事項
  - ・ 話題 1年：日常生活の中から 2, 3年：社会生活の中から
- 話すことに関する事項
  - ・ 話すための準備段階で指導する内容と、実際に話をする段階で指導する内容  
1年：構成 2年：論理的 3年：説得力
- 聞くことに関する事項
  - 1年：質問しながら 2年：論理的構成や展開 3年：内容や表現の仕方を評価
- 話し合うことに関する指導事項
  - 1年：話題や方向 2年：目的に沿って 3年：進行の仕方を工夫

### 3 「B書くこと」の指導事項

	第1学年	第2学年	第3学年
課題設定や取材に関する指導事項	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。
構成に関する指導事項	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	
記述に関する指導事項	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。
推敲に関する指導事項	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。
交流に関する指導事項	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めること。

#### 【ポイント】

- 指導事項については、学習過程が分かるように内容を構成し、小学校との系統化を図る。  
1～5は学習過程の流れ。5の指導事項については新設である。

	書くことの指導事項	内 容
1	課題設定や取材に関する指導事項	書く課題をきめ、材料を集めながら自分の考えを形成すること
2	構成に関する指導事項	自分の考えが明確になるよう文章を構成すること
3	記述に関する指導事項	語や文及び段落の続き方に注意してまとまりのある文章を記述すること
4	推敲に関する指導事項	記述した文章を読み返し推敲すること
5	交流に関する指導事項 【新設】	書いたものを発表し合い、交流すること

4 「C読むこと」の指導事項

	第1学年	第2学年	第3学年
語句の意味の理解に関する指導事項	ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。
文章の解釈に関する指導事項	イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
自分の考えの形成に関する指導事項	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自の考えをもつこと。	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。 エ 文章を読んで人間、社会自然などについて考え、自分の意見をもつこと。
読書と情報活用に関する指導事項	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。	オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。

【ポイント】

- 文章の解釈とは、本や文章に書かれた内容を理解し意味付けることである。今までの読書経験や体験などを踏まえ、内容や表現を、想像や分析、比較、対照や推論などによって相互に関連付けて読んでいく。文章の内容や構造を理解したり、その文章の特徴を把握したり、書き手の意図を推論したりしながら、読み手は自分の目的や意図に応じて考えをまとめたり深めたりしていく。